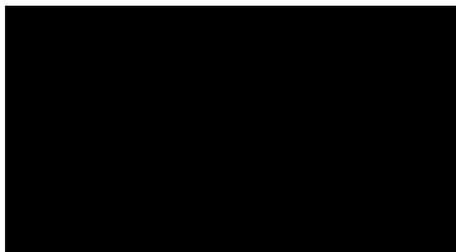


第5期 事業報告書

平成14年4月1日 ▶ 平成15年3月31日



CONTENTS

株主の皆様へ	1
業績の推移	3
貸借対照表	4
損益計算書	5
損失処理	6
会社の概況	7
株式の状況	8
トピックス	9

株主の皆様へ

当期におけるわが国経済は、長引く株式市場の低迷、完全失業率の高水準化、デフレ進行による消費マインドの低下など、依然として厳しい環境下にあります。同様に、世界経済につきましても、米国における企業会計不信やIT企業の業績不振に起因した株安が世界に波及し、景気の先行き懸念が高まりました。また、イラク情勢などの国際政治情勢の緊張も、世界経済全体の先行きの不透明感を増幅しております。

当社の事業領域であります医薬品・バイオ関連業界は、ゲノム創薬を中心とした研究開発競争が熾烈化しており、国内の大手製薬企業においても、海外の企業と合従連衡を積極的に図るなどの動きが活発化しております。

当期における当社の遺伝子破壊マウス事業におきましては、平成13年12月に山之内製薬株式会社との間及び住友化学工業株式会社との間で、各々締結した「遺伝子破壊マウスにかかる情報の優先的（排他的）提供に関する契約」の履行を最優先課題としてまいりました。

これをうけて、当該遺伝子破壊マウスの生産規模の拡大を実現するために、平成15年2月より熊本県益城町テクノリサーチパーク内の新研究所に生産拠点を集約するとともに、協和発酵工業株式会社と「遺伝子破壊マウスの生産・解析に関する業務委受託契約」を締結しております。さらに、神戸市とは、将来の生産規模の拡大を目的として神戸ポートアイランド第2期地区内のパイロットエンタープライズゾーンにおける優遇条件での用地借受けを合意しております。

以上のように当該事業におきましては、遺伝子破壊マウスの大規模な生産体制を確立するとともに、将来的にも遺伝子機能解析能力を充実させる環境を着実に構築してまいりました。

一方、抗体事業におきましては、平成14年2月に、株式会社日経ビーピーとの間で締結した「i-Research 抗体作製プロジェクト」を通じて、国内外の研究者や研究機関等とのネットワークを拡大し、疾患との関わりが深い新規発見タンパク質の収集を順調に進めてまいりました。これにより、ポストゲノム時代に対応したバイオ研究の基盤となる抗体の大規模作製を通じて、最先端の情報を蓄積できる環境をさらに整備しております。

また、財団法人くまもとテクノ産業財団が、当社を資金提供事業者とし、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）に対して提案していた研究テーマ「高親和性抗体産出GANP遺伝子導入マウスを用いた抗体医薬創出の基盤技術の開発～エイズ治療薬をモデルとして～」が、平成14年度大学発事業創出実用化研究開発事業に採択されるなど、受託研究も順調に獲得してまいりました。

以上の結果、当期の業績は増収減益となり、売上高につきましては274,962千円（前期は193,712千円）となりました。内訳といたしましては、遺伝子破壊マウス事業は162,227千円（前期は82,350千円）、抗体事業は112,735千円（前期は111,362千円）であります。

損益につきましては、主に遺伝子破壊マウスの本格的な大規模作製にともなう研究開発費として561,059千円（前期は422,429千円）を計上し、また株式上場に向けた管理部門の人員の補強を積極的に行った結果、営業損失は898,999千円（前期は621,925千円の営業損失）となりました。また、経常損失は944,853千円（前期は626,988千円の経常損失）、当期損失は948,023千円（前期は635,070千円の当期損失）となっております。

株式会社 トランスジェニック
代表取締役社長 井 出 剛

業績の推移

区 分	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
	自 平成10年 4月21日 至 平成11年 3月31日	自 平成11年 4月 1日 至 平成12年 3月31日	自 平成12年 4月 1日 至 平成13年 3月31日	自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日
売 上 高 (千円)	58,462	105,633	357,972	193,712	274,962
経 常 利 益 (千円)	1,406	9,871	9,083	△626,988	△944,853
当 期 利 益 (千円)	355	△ 11,752	1,272	△635,070	△948,023
1株当たり当期利益 (円)	912.52	△ 13,447.24	522.14	△ 55,610.40	△ 20.93
総 資 産 (千円)	87,009	218,061	1,408,726	1,320,711	4,094,541
純 資 産 (千円)	21,355	49,652	1,149,049	513,617	3,326,264
1株当たり純資産 (円)	50,847.34	40,698.53	100,617.26	44,975.30	56.49

- (注) 1. 1株当たり当期利益は期中平均発行済株式数によって算出しております。
2. 第3期の総資産及び純資産が第2期に比べて著しく増加したのは、主として新株式発行によるものであり、第5期の純資産及び総資産が過年度に比べて著しく増加したのは、平成14年12月10日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場し、公募増資等を行ったためであります。
3. 1株当たり当期利益は、第5期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」に基づき算出しております。

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期		当 期		科 目	前 期		当 期	
	平成14年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在		平成14年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在	平成15年 3月31日現在
資 産 の 部					負 債 の 部				
流 動 資 産	1,131,276	3,628,369			流 動 負 債	602,062	558,240		
現金及び預金	942,453	3,001,133			短期借入金	135,000	160,000		
受取手形	6,315	4,296			一年以内返済予定	1,656	—		
売掛金	85,756	82,855			長期借入金	—	—		
有価証券	49,938	399,767			未払金	52,261	111,453		
棚卸資産	24,304	48,658			未払費用	24,574	28,051		
子会社短期貸付金	—	20,000			未払法人税等	1,591	2,300		
前払費用	19,048	18,500			前受金	378,260	256,419		
未収消費税等	—	51,950			その他	8,718	14		
その他	3,520	1,315			固 定 負 債	205,032	210,037		
貸倒引当金	△60	△107			社 債	200,000	200,000		
固 定 資 産	189,435	466,172			長期借入金	5,032	—		
有形固定資産	139,364	321,364			その他	—	10,037		
建物	13,496	87,796			負 債 合 計	807,094	768,277		
機械及び装置	34,242	30,904			資 本 の 部				
工具器具及び備品	91,269	202,463			資 本 金	793,500	2,404,723		
車両運搬具	354	199			資 本 剰 余 金	365,500	2,515,406		
無形固定資産	13,792	64,754			資本準備金	365,500	2,515,406		
ソフトウェア	13,214	64,056			利 益 剰 余 金	△ 645,145	△1,593,169		
電話加入権	578	698			当期末処理損失	645,145	1,593,169		
投 資 等	36,278	80,052			(うち当期損失)	(635,070)	(948,023)		
投資有価証券	12,150	12,000			株式等評価差額金	△ 236	△ 446		
子会社株式	—	10,831			自 己 株 式	—	△ 250		
長期前払費用	5,632	3,942			資 本 合 計	513,617	3,326,264		
敷金	17,038	46,653			負 債 ・ 資 本 合 計	1,320,711	4,094,541		
その他	1,457	6,626							
資 産 合 計	1,320,711	4,094,541							

損益計算書

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	(自 平成13年 4月 1日) (至 平成14年 3月 31日)	(自 平成14年 4月 1日) (至 平成15年 3月 31日)
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益		
売上高	193,712	274,962
営業費用		
売上原価	52,338	86,092
販売費及び一般管理費	763,298	1,087,870
営業損失	621,925	898,999
営業外損益の部		
営業外収益	4,061	3,877
受取利息及び受取配当金	210	494
その他の	3,851	3,383
営業外費用	9,124	49,730
支払利息	2,202	2,200
新株発行費	—	42,156
その他の	6,922	5,373
経常損失	626,988	944,853
特別損益の部		
特別利益	—	203
固定資産売却益	—	203
特別損失	1,015	984
固定資産除却損	1,015	984
税引前当期損失	628,003	945,633
法人税、住民税及び事業税	2,312	2,389
法人税等調整額	4,754	—
当期損失	635,070	948,023
前期繰越損失	10,074	645,145
当期未処理損失	645,145	1,593,169

損失処理

(単位：円)

摘 要	前 期	当 期
I 当 期 未 処 理 損 失	645,145,632	1,593,169,104
II 次 期 繰 越 損 失	645,145,632	1,593,169,104

会社の概況

主要な事業内容 当社は、遺伝子破壊マウスの作製及び遺伝子機能解析情報を提供する「遺伝子破壊マウス事業」及び基礎研究用試薬である抗体を作製する「抗体事業」を主たる業務としております。

主要な事業所

- 本 社
熊本市中央街2-11
- 研 究 所（現 本社）
熊本県上益城郡益城町田原1155-5
- 東京営業所（現 東京支店）
東京都品川区大崎1-11-1
- 福岡営業所（現 福岡支店）
福岡市中央区天神1-1-1

役 員

地 位	氏 名	担 当 又 は 主 な 職 業
代表取締役社長	井 出 剛	
専務取締役	是 石 匡 宏	
取 締 役	田 中 淳	
取締役非常勤	山 村 研 一	熊本大学 副学長、同大学 発生医学研究センター教授 (株)ユージーン 取締役
常勤監査役	松 尾 靖 彦	
監 査 役	遠 藤 了	(株)和陽インターナショナル・コンサルティング 代表取締役社長 太陽監査法人 代表社員
監 査 役	梶 間 俊 男	

- (注) 1. 常勤監査役松尾靖彦、監査役遠藤了、梶間俊男は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。
2. 当社では、取締役会の一層の活性化を促し、取締役会の意思決定、業務執行の監督機能と各部門の業務執行機能を明確に区分し、経営効率の向上を図るために執行役員制度を導入しております。執行役員は3名で、抗体研究所長坂本珠美、事業推進本部長佐藤道太、管理本部長寺田敦彦で構成されております。

株式の状況 (平成15年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 137,040,000株

発行済株式の総数 58,884,500株

当期末株主数 8,500名

大株主

株主名	大株主が有する当社の株式		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
	千株	%	千株	%
(株)井出事務所	10,663	18.11	—	—
井出剛	4,740	8.05	—	—
東京海上火災保険(株)	1,500	2.55	—	—
エヌ・アイ・エフベンチャーズ(株)	1,425	2.42	—	—
日本生命保険(株)	1,350	2.29	—	—
投資事業組合「NIFニューテクノロジーファンド 2002/2号」	1,125	1.91	—	—
第一生命保険(株)	1,050	1.78	—	—
大阪中小企業投資育成(株)	950	1.61	—	—
電源開発(株)	900	1.53	—	—
大阪投資育成第2号投資事業有限責任組合	750	1.27	—	—

トピックス

当社株式を東京証券取引所マザーズ市場に上場

産学官連携の大学発ベンチャー企業の責務として、また日本のバイオ業界のインフラにならんとし、ゲノム研究において最も重要なかつ必須の「大規模遺伝子破壊マウスの作製、個体レベルからの遺伝子機能解析」を担うバイオベンチャー企業を社員とともに建設してまいりました。

おかげさまをもちまして、平成14年12月10日、東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。今後とも、どうか厳しい目で弊社を鳥瞰していただきまして、大学発バイオベンチャー企業のあるべき方向へのご指導及びご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。



写真左は、授与式にて記念品を授与された
当社代表取締役社長 井出 剛

(於 東京証券取引所)

株主メモ

決 算 期	3月31日
定期株主総会	6月中
基 準 日	3月31日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 ユーエフジェイ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 ユーエフジェイ信託銀行株式会社証券代行部
同 取 次 所	ユーエフジェイ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	1,000株

●決算公告のホームページのご案内

当社の決算公告は、今期より定款紙による決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社のホームページ（<http://www.transgenic.co.jp>）に掲載することとしましたので、こちらでご覧いただけます。

本社移転・支店設置のお知らせ

当社は、平成15年6月27日付で本社を熊本県上益城郡益城町田原1155-5へ移転いたしました。
また、東京営業所および福岡営業所は平成15年5月1日付でそれぞれ東京支店および福岡支店といたしました。